

平成29年2月20日

保護者のみなさま

平成28年度保護者アンケートのまとめ

文京区立お茶の水女子大学こども園 園長 宮里 暁美

日頃より、本園の保育・教育にご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。また保護者アンケートへのご協力にも深く感謝いたします。皆様のご意見を大切にして、来年度の園運営につなげてまいります。集計結果の概要について、報告させていただきます。

○調査期間：平成29年1月17日～1月28日 ○回答者数：58名 回答率 81.7%

1. こども園の教育目標・保育目標の実現について

○「人とつながる」「遊びがにつながる」「地球とつながる」については、多くの「そう思う」という回答を得た。
 ○「家庭」や「地域」とのつながりについては、「そう思わない」という回答もあり、来年度に改善していきたい。
 ○保育目標についてはほぼ同じ回答の状況である。来年度もバランスのとれた保育内容の充実を目指していきたい。

目標	わからない	全くそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
1 <人とつながる>一人一人がゆっくり「自分」になっていく過程を大切に。異年齢の関わりや大学の学生や教員等との出会いを、豊かな経験に。	0	4	0	54	32
2 <遊びがにつながる>可塑性に富んだ素材や多様な道具を使い創造的に遊ぶ生活。昨日・今日・明日へと遊びをつなげます。表現する喜びを味わいます。	0	10	0	47	43
3 <地球とつながる>食を楽しみ心地よく眠り遊ぶ生活。自然の不思議と出会い感じる体験。様々な国の方との関わりを通して人と出会ううれしさを味わう。	0	13	0	45	42
4 <家庭とつながる>子育て広場の開催し、小さな子をもつ保護者を支え、一緒に育つ機会を設定。地域の方との出会いや協働の機会を大切に。	5	0	5	20	28
5 <地域とつながる>親も子どももほっとできる園を目指す。子どもを真ん中に。情報の発信・受信、多様な保育参加の機会を通して、子どもへ向けるまなざしを共有。	1	5	18	34	42
1 食べる、眠る、遊ぶ生活を過ごし、心もからだも元気な子ども	0	8	50	42	
2 様々な人との関わりを重ね、自分も友達も大切に子ども	0	14	43	43	
3 「やってみよう」という気持ちを持ち、じっくり遊ぶ子ども	0	2	10	46	42
4 自然や文化との出会いの中で、心を動かし表現する子ども	0	16	41	43	

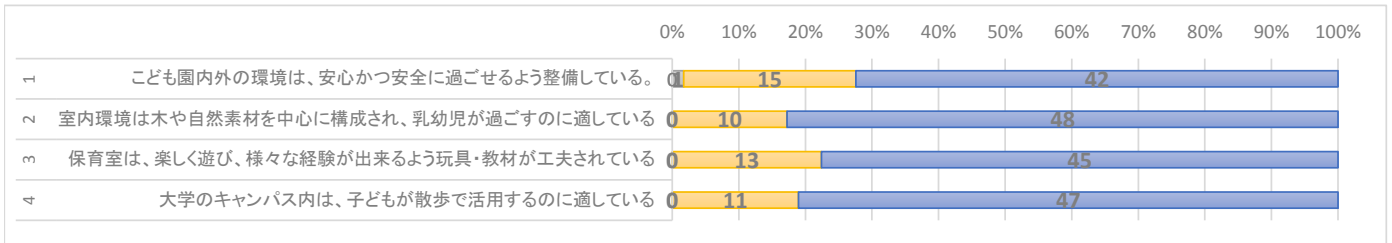
2. こども園の保育内容について

○「和食中心の給食」「好奇心や意欲」「自然」について、多くの「そう思う」「ややそう思う」という回答を得た。これらのことは園として重点をおいて取り組んだことであり、今後も大切にしたいと思う。
 ○「発達に応じた援助」「豊かな文化」について「そう思わない」「ややそう思わない」という回答があった。年間計画を見直し改善していきたい。

内容	わからない	全くそう思わない	あまりそう思わない	ややそう思う	とてもそう思う
1 保育者はこどもの要求に十分に気づき、それを慎重にかなえている	0	1	17	39	43
2 遊びや生活を通して年齢に応じた社会性(あいさつ・思いやりなど)が育まれている	0	2	20	36	42
3 遊びの中での学びを支え、好奇心や意欲を大切にしている	0	1	6	50	43
4 散歩や屋外活動を通して、自然へのかかわりは十分に行われている	0	2	12	43	43
5 こどもの発達に応じた援助や多様性への配慮がなされている	3	0	3	13	39
6 音楽や物語、表現遊び等、豊かな文化に直接触れる体験を重視している	2	0	3	18	34
7 睡眠・排泄・衣服の着脱など、年齢に応じた生活面での配慮がなされている	2	0	18	37	43
8 和食を中心とした給食を通して、おいしさや食の楽しさを味わわせている	0	7	51	42	

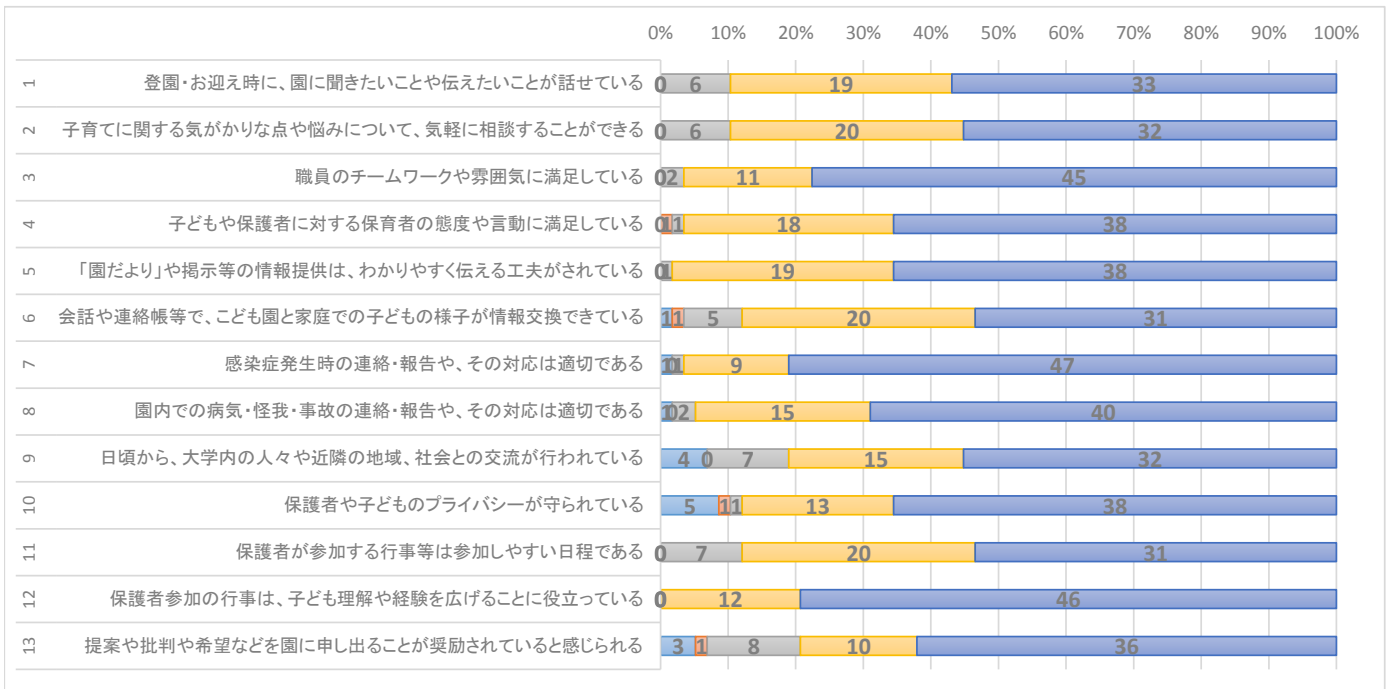
3. こども園の環境について

- 全体として「そう思う」「ややそう思う」の回答だった。
- 木や自然素材を大切にしたい室内環境やキャンパス内の活用への賛同を多く得た。今後も豊かな経験を重ねたい。
- 園内外の環境の安心、安全については、常に点検を怠らず、より一層の安心、安全のために努力していきたい。



4. 情報発信や保護者のかかわりについて

- 「感染症発生時の対応」について「そう思う」の回答を多く得た。今後も、常に最新の情報を得ながら、より安全で安心な対応を実現できるよう努力したい。
- 「気軽に相談できる」「情報交換ができています」については、「ややそう思わない」という回答が複数寄せられた。保護者の皆様と情報を共有することは、子どもたちのよりよい成長を実現していくために欠くことができない。これまでの取り組みに加えて、さらに努力していきたい。
- 「提案や批判や希望への奨励」については、「そう思わない」「ややそう思わない」の回答が寄せられた。本園では、よりよいこども園をぜひ保護者と共に作っていきたくと願っている。「奨励されている」と思っていただけのような改善策を検討し来年度実施していきたい。



5. こども園の遊びや生活についてのご意見から

- 固定遊具で遊んだり運動体験が積み重なるようにしてほしい。
⇒近隣の児童遊園を活用する。幼児クラスでは大学の体育館を週1日程度利用し運動体験が積み重なるようにする。
- 地域の方々と触れ合うなど、様々な人と出会う機会がもっとあればいい。
⇒少しずつ始まっています。ぜひ行いたいことです。地域の情報があつたらぜひ教えてください。
- 玄関前、廊下やエントランスの掲示、飾りは乳児クラスの安全性に配慮して。
⇒整理しました。また、給食サンプルの置き方も改善しました。今後も常に点検し改善していきます。
- こども園としての幼児教育が目指すところ、その内容を具体的に教えてほしい。
⇒その通りですね！毎月発行する園だよりに盛り込んでいきたいと思っております。今後の課題とします。
- 保護者会で親同士(同学年、異学年)が意見交換できるとよい。
⇒来年度の会の持ち方の中で、改善していきたいと思っております。
- 行事について、参加できない方のために、動画をYoutubeで保護者限定で公開してはどうか？
⇒保護者限定の情報公開については、安全管理面の確認をしながら可能な方法を検討したいと思います。
- 目に見えないものやすぐにわからないことが大切にされている印象。将来どのような形で子どもにあらわれるか楽しみです。
⇒目に見えないけれど大切なこと、子どもたちの「根っこ」の部分大切に育てていきたいと思っております。
- ★この他にもたくさんのご意見や励ましの言葉をいただきました。貴重なご意見を今後生かしてまいります。ありがとうございました。